

# 府がくやく便り

NO. 8 2008. 10. 18.

\*\*\* 日薬学術大会報告 (1) \*\*\*



京都府学校薬剤師会副会長 大町佐千美

フェニックス・シーガイア・リゾートワールドコンベンションセンターサミット、サンホテル フェニックス宮崎国際会議場で催された日本薬剤師会学術大会の報告です。

本大会のメインテーマは「地域医療に生きる—いつも誰かのそばに」でした。テーマの通り活発な多岐にわたる口頭の発表と 入れ替えのため張り替えなければならなかったポスター発表と今までにない大会となりました。限られた時間と限られた人間ですべてを把握することは当然、無理があります。また、始まりと終了にあたっては列車と飛行機等の時間の関係であきらめなければならない時間配分になりました。もう少しこの辺を配慮できないかといつも感じることはありません。

## 分科会 3 地域保健と薬剤師

### 口頭発表 1 行政

公益法人制度改革にむけて、名古屋市薬剤師会公益事業部門の試み  
(社)名古屋市薬剤師会 矢野 裕美 氏

名古屋市薬剤師会の公益事業部門の活動を紹介します。公益社団取得の一助にされるべく報告。「薬の話、出前します」「献血事業」「おくすり電話相談」等を通し 市民、行政にアピール。これを目的に活動。公益事業を通して横の連帯をとっていききたい。

### 口頭発表 2

鹿児島県指定 「女性の健康サポート薬局」

鹿児島県薬剤師会 種子田 育恵 氏

平成19年度 鹿児島県の取り組みとして「女性の健康サポート薬局」を指定することになり、県薬剤師会は鹿児島県健康増進課との協力のもと、鹿児島県や薬務課とも連携を図り事業を実施。

女性が健康問題について相談しやすい環境の整備とともに、ポスター掲示、資料の配布等女性の健康づくりの普及を行う薬局を県薬剤師会が推薦、県が指定。講習会受講など指定要件を満たす薬局が指定を受けました。社会全体で女性の健康づくりを推進することができるのでは。

### 口頭発表 3

東京都における毒劇物タンク保有事業者の取扱い・保管状況について

田中 裕子 氏 東京都福祉保健局健康安全研究センター広域監視部  
事故発生時に大きな被害が想定される1トン以上のタンクで毒劇薬を保有している119事業所を平成17、18、19年度の3年間、立入調査・指導を行い、その取りまとめを報告されました。

まとめとして、危険防止規定に則り、点検記録や管理簿の作成、責任の明確化、物質特性（腐食性、高温、高圧等）に合わせた点検リストの作成など、各事業所で毒劇物の適正な取り扱い・管理等に関するルールを定め、自らの業務体系を鑑みた管理体制を整備・実行する指導に力をいれ、ソフト面でもフォローアップしていきたい。

#### 口頭発表 4

災害時における緊急連絡システム（apha call）の構築

寺島 健二 氏 愛知県薬剤師会 薬事情報部会

#### 口頭発表 5

これからの薬剤師に求められる必須スキルとその習得法とは

村野 宏守 氏 日本災害医療薬剤師学会

これからの薬剤師は服薬による副作用の早期発見、より積極的な疾病予防、健康増進等が求められる。さらに救命救急処置による人命の救済も必須となるでしょう。

災害時や突発事故等における救命救急医療、トリアージや被災地における環境衛生の確保、伝染病の予防等を範疇に当学会は活動を行っています。災害時には医師、歯科医師看護師等の連携やコーメディカルの理学療法士、社会福祉士等との広範な連携、病薬、製薬メーカー、行政、異分野の薬剤師との連携もあり、いままでなかった医療活動の分野が存在します。更に、学校薬剤師等が活動している児童生徒、一般市民対象の「くすりの正しい使い方」や「薬物乱用防止」等の啓発、講演、そして医療人としての究極の「健康増進」に対しても薬剤師の参加が求められています。「調剤室」という密室から一歩外へ踏み出す時代が到来しているのでは？

#### 口頭発表 6

学校における電磁波の暴露量について

中本 光子 氏 山口県学校薬剤師会

学校における電化製品等から発生する電磁波について実態調査とWHOの勧告値（4 mG）を基準に対策を検討。断言はできないが、古い機種ほど安全領域に配慮する必要もあるといえる。電磁波発生源からの距離を充分にとれば、電磁波による悪影響は受けないといえる。密着使用する電気毛布は使用にあたっては対策が必要です。

#### 口頭発表 7

教室等室内外のスギ花粉飛散量について ～自然換気の学校と年間空調ビル～

井上 優美子 氏 東京都学校薬剤師会

都内2学級と年間空調ビルについて、各階におけるスギ花粉と外気のスギ花粉飛散数の実態調査し知見を得たので報告いたします。

年間空調ビル、窓閉鎖している方が少ない。

スギ飛散の室内外比は、窓開けの影響を受けている。

スギ花粉の飛散数の評価から見ると室内は極端に少なく、学校の窓等は開放のこともあるが、室内へのスギ花粉飛散数の影響は小さく無視できるものと思われる。

#### 口頭発表 8

全国学校保健調査結果について

長井 章 氏 日本学校薬剤師会

平成19年度の調査は平成14年度と同テーマで、学校給食の衛生管理について質問し対応の変化をみた。

衛生管理体制および活動において、いずれの学校も学校給食に対する関心や学校薬剤師の関わりが減少してきており、食中毒に対する危惧が薄らいでいることが伺われた。学校保健委員会の中で学校給食を取り上げ、二度と食中毒が発生しないよう見直しを図っていただきたい。

### 口頭発表 9

学校薬剤師と養護教諭・保健主事との合同研修会について～21年間を振り返って～

前田 幸英 氏 宮崎県都城市北諸県郡薬剤師会

研修会を通じて、定期検査などの環境衛生活動がスムーズになることです。途中から保健主事および市町の学校教育課にも出席協力を要請。

内容は前年度の検査をまとめ、報告・指導し、養護教諭からの要望・意見等も取り上げる機会も作りました。要望の多い講演テーマは毎年90分程度の特別講演を組み込んで今日に至っています。

### 口頭発表 10

薬物乱用防止教育は「お薬教育」から 一小学校における「医薬品の適正使用に関する教育」推進にむけて一

古谷しう子 氏 小平市薬剤師会

指導要綱に記載があり、講義要望の多い「薬物乱用防止教育」の前に、その基礎となる「お薬教育」が必要であることを理解していただいく啓発活動を行い、要望により両者を結びつけた授業も試みている。

医薬品の特異性やその適正指導に関する知識を持たないため陥る薬物乱用の危険性を訴え、「お薬教育」の必要性和重要性を各校の学校薬剤師が学校長・養護教諭に説き、さらに市内公立校学校長・副校長合同会議、養

護教諭部会に参加し、小中学校での「お薬教育」の趣旨の説明と協力を要請。

「薬物乱用防止教育」の前段に組み込んだ「お薬授業」は、その重要性に関する理解を深め「お薬授業」を普及するために有用と考えられます。

(感想)

口頭発表、ランチョンセミナー、ポスター発表と大変多くの薬剤師の参加があり

さらに、学校薬剤師、救急医療と幅広い課題に取り組みられていました。口頭発表もおのおの10分間で、受講者に非常にわかりやすく、まとめられていました。

多方面で活躍されている薬剤師の発表を目の当たりにして、非常に参考なるとともに

これからの薬剤師は調剤室を飛び出し、活動していかなければいけないと感じました。

各薬剤師が毎年開催の、この学術大会を受講して、参考にしてくださることを願っています。もちろん、学校薬剤師の先生方にもおおいに、勉強になりますとともに、活動の指針、確認になると思いました。今年、神話と太陽の国、東国原知事の宮崎県からでした。次年度はマザーレーク琵琶湖の滋賀県の予定です。みなさまの多くの参加を願っています。